



いわき探検記



2024年2月 Vol.24
地域おこし協力隊
辻村 春香

今年の1月は昨年に比べ、暖かい日が続きますね。

雪ではなく雨が降る日も多く、暮らすにはだいぶん楽なのですが、今年の夏の畑のことを考えると、雪がこんなに少なくて大丈夫なのだろうか？ と不安に思います。

2月の天気も気になるところですが…。

居場所づくり@五代多目的集会所 みんなの居場所ステップ44

1月20日「獅子舞をおどってみよう！」

企画・運営に携わっています！

新春＝“獅子舞”のイメージがあったのですが、最近「正月だから獅子舞が来る」というのはあまり聞かなくなりました。なので、あえてこの時期に“獅子舞に触れるチャンスを作ろう”と思って始めました。

団体名の「44」は「しし（獅子）」。地域が元気になることを通じて、地域の伝統芸能も守っていきたいという想いでつけられています。

当日の参加者は4組5名。1人は参加者のお父さんで、息子さんを連れてきただけのはずが「あなたも、あなたも」と踊ることになり、1人足りないということで私も踊ることになり…。

2組×3人の構成で踊りを練習しました。というのも、五代獅子舞は「3人獅子」に分類されるそうで、先導役の「おかしこ（可笑子）」＋「男獅子・中獅子・女獅子」の3獅子構成。なので、数合わせで、踊るつもりがなかった2人を巻き込んで「3人獅子」を2組作ったのです。

1時間ほど練習し、休憩していると、練習時間を繰り上げた五代獅子舞保存会のメンバーが合流（いつも隔週土曜日の夕方に練習しているところ、この日は日中に練習時間を繰り上げて集まってくださいました）。

現在、受験のためお休み中の中学生も久しぶりに顔を出し、その子と若手中核メンバーの男性がそれぞれ“おかしこ”を務め、

参加者の2組の先導役に。いつも子供組で活躍中の5人の小中学生が前方で見本で踊り、お囃子にあわせて、参加者併せて総勢13人での獅子舞！！

お囃子してくれていた方＋保存会の子供メンバーの親御さんも加わり、30人近くが集まって、ワイワイとにぎやかな獅子舞となりました。

保存会の皆さま、親御さん方、ありがとうございました。



動画で概要を掴んだ後に、ひと節ずつ区切って練習。



「お囃子に合わせて踊ってみましょう！あ、●●くん、”おかしこ”に入って！！久しぶりだけど、大丈夫でしょ？」

次回

2月10日（土）9：30～ **防災ワークショップ。**

この探検記が回るころには終了していますね…

次々回

3月2日（土）9：00～ **レッツ ヨガ！！**

今年度、最終回！！

ご興味のある方、ふるって参加ください♪

（体が硬い方も歓迎。むしろ、ほぐしに来てください！）

参加者
募集中！！

詳細はチラシを見てね♪

3月9日「活動成果報告会」開催決定!!

～岩木地区地域おこし協力隊 第2期隊員の活動の軌跡の報告会

地域おこし協力隊の任期は3年。来る3月で私の任期も終了です。

同期の2名と私の3年間を、地域の方たちに報告させていただく時期になりました。

岩木地区隊員は3名。岩木総合支所 総務課に所属し、岩木地区で活動を行ってきました。

これまでの3人の活動振り返りと退任後の展望をお話する予定です。この日は、岩木地区等でワインぶどう栽培に関する活動をしている、りんご課所属の藤井隊員の間接報告もおこなわれます。

お時間のある方、ぜひご参加ください。

たくさんの方にお会いできるのを楽しみにしております♪

3月9日 14:00～15:30
(受付は13:30より)
中央公民館岩木館 2階 大ホール

参加費 無料
事前申込み 不要

**岩木地区地域おこし協力隊
活動成果報告会**

日時 令和6年3月9日(土)
14:00～15:30

場所 弘前市中央公民館岩木館 2階 大ホール
(弘前市大字宮田1-18-3)

令和3年4月1日より活動を開始し、令和6年3月31日に任期満了となる岩木地区地域おこし協力隊員3名の3年間にわたる任期中の活動内容及び成果を報告する報告会を開催します。参加は無料、事前申込みも不要ですので、興味がある方はぜひご参加ください!



岩木地区等でワインに關する活動をしている藤井大樹隊員による活動中間報告も行います。

太田 歩 隊員 辻村 春香 隊員 対馬 慎太郎 隊員

主催 岩木みらい協議会(事務局:弘前市岩木総合支所総務課)
〒036-1393 弘前市大字宮田1-1-1
TEL:0172-82-1621 FAX:0172-82-3118 隊員の活動はこちらから
E-mail:soumu-i@city.hirosaki.lg.jp



地機 稼働開始!!

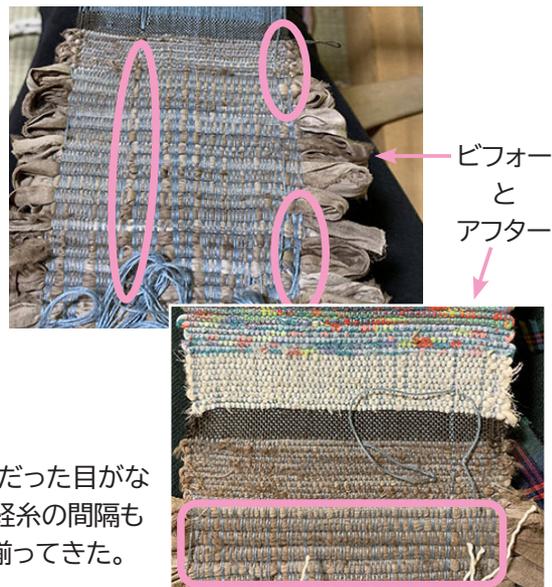
譲っていただいた地機(じばた)ですが、12月の経糸トラブルが解決、1月に先生から「織り始め」の前に必要な「元寄せ」の工程を習いました。

腰で引っ張って織るタイプの機(はた)なのですが、手元の部分の経糸を、布幅がきちんとできるように小分けにして結び直し、それから「捨て」の糸を織り込んでいきます。かけた経糸が順調に動くか…と思いきや、目が飛び状態。

その不具合のまま、「織り始め」に到達するまで、いったん先生に手順を習いました。

先生が帰った後に解きなおして経糸の状態を確認し、意図を調整したあと、再度「元寄せ」をおこなって、なんとか織り始めることができました!!

飛び飛びだった目がなくなり、経糸の間隔もキレイに揃ってきた。



商品づくり…?

旅行業を営む知人と、グリーンツーリズムの商品づくりを検討中です。商品と言っても、モノではなくコト、で、商品ではなく体験を売れないか、という話です。

私がこれまでやってきたことをベースに、農泊事業としての農業体験はもちろんのこと、“農村体験”できるようにしていきたいと考えています。

岩木で触れることができたことは、青森市の新興住宅街で育ち、長く都会を転々としてきた私には、初めてのことも多く、驚きと感動がありました。それを活かせないかと考えました。

弘前里山グリーンツーリズムに登録されている諸先輩方に教を請いながら、また、弘前在住の外国人の友人・知人にも意見を聞きながら、「日常」を商品化できないか検討していく予定です。

ご意見・ご指導、よろしくお願いいたします。



お布団、集まりました！！

4月から、岩木で暮らしていくための一つの道筋として「農泊」を計画中であることを、前回報告させていただきました。
宿泊施設として使うには、お布団が必要…。お布団をどうしよう？ と思っていました。



そんな話をしていたら、ある方から
「客用布団、余している人、結構多いと思うけど、
貰えないものかしら？」
とご助言いただき、早速前号でお声がけ…。

3名の方から連絡いただき、必要分の寝具を譲っていただくことができました。
このときお会いしたお三方は、はじめてお話しする方ばかり。
みなさん、優しかった！！



「布団乾燥機は？」と聞かれ、棚ボタ的にいただく。調ラッキー！！

新しい出会いもあり。
訪問中にハプニングあり。(偶然、岩木地区外の友人に数カ月ぶりの遭遇!?)
改めて、縁の深さ・奇妙さに気づかされる機会となりました。
「岩木に残って事業を軌道に乗せなければ」という想いがいっそう強くなりました。

◆◆ 編集後記 ◆◆

私たちの任期も残すところ1カ月半。
最終号は、協力隊の成果報告会の報告も含め、4月1日の広報配布時に発行できるよう、準備を進めていきたいと思えます。
最終号まで、どうぞよろしくお願いいたします。

WANTED

探しています！

夜生活に関わる民具を探しています。

“糸績みの講座”。外部講師をお招きして開催しています。
参加者の方々の声で「地元の衣服に関する民具」がなくなりつつあることがわかりました。
カラムシや麻の繊維をとるのに使った道具や、機織りの箴(おさ)、糸車、紡錘車(ぼうすいしゃ)など、衣服に関する民具を探しています。

紡錘車

糸粹

糸車

いずれも、情報いただけましたら、状態の確認に伺わせていただきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

連絡先
岩木総合支所 総務課

もろもろ情報
お待ちしております！

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621
Mail: har-tsumimura@city.hirosaki.lg.jp



「いわき探検記」のバックナンバーは、市のホームページでもご覧になれます。